

建設現場の使用電力100%再生可能エネルギー化※

長谷工コーポレーションの建設現場において、使用電力の100%再生可能エネルギー化を2023年5月に完了しました。今後、不二建設、長谷工リフォーム、細田工務店等、長谷工グループ

の全建設作業所の使用電力についても、2025年末までに100%再生可能エネルギーへの切り替えを予定しています。

※ 着工後の再生電力への切替申請中現場、引渡前の電力会社との本受電(非再生エネ)への切替済現場を除く。

建設廃棄物削減の取り組み

建設廃棄物のリサイクル状況

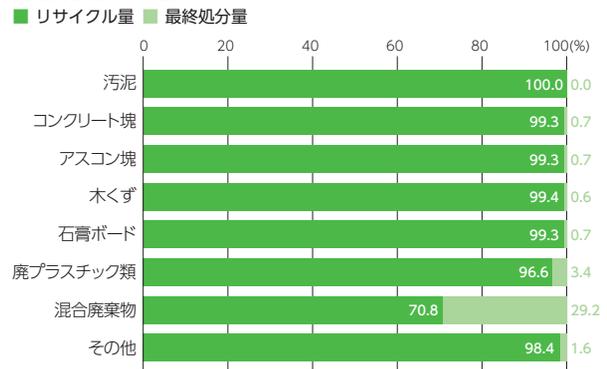
2023年度の建設廃棄物のリサイクル量は、新築工事416.5千t、解体工事296.3千t、合計712.8千tでした。また、フロ

ン79.7t(ハロン0.4t)の回収・破壊処理、アスベスト3,065.8tを適正に処理・処分しました。

建設廃棄物リサイクルの推移



品目別処理の内訳



汚染予防・周辺環境配慮

土壌・水質汚染に対する対応

長谷工グループでは、用地の取得に当たり、過去の利用履歴を調査し、土壌汚染の疑いのある場合は、専門家による土壌調査を実施します。土壌汚染が確認された場合、土壌汚染対策法など関係法令に基づき、汚染物質の掘削除去・封じ込めなど適切な処置を行っています。また、同様に水質汚染に関しても、問題が確認された場合、適切に対応しています。

周辺環境配慮

長谷工グループでは、新築マンション建設工事や既築物件のリフォーム工事等を行う際、低振動・低騒音の建設車輛・機械を使用するなどし、周辺環境への配慮を心掛けています。複数の作業所では、周辺地域の清掃の継続的な実施や、その他、仮囲いの上への防音シートの設置、杭頭処理工事の際の防音対策など、周辺への影響をなるべく抑えるような対策を行い作業しています。



清掃活動の様子